

北区民の声を市政に届ける、誰ひとりおいてきぼりにしない



「小室まさのり」だより

2018年12月号 発行責任者 日本共産党札幌北区地区委員会
☎ 788-5760 札幌市北区新琴似10条7丁目7-16

「雪の前に」の約束、間に合いました！

あいの里で「飛び上がったマンホール」切り下げ工事

師走とともに雪も。難儀な季節が始まりました。

なんとか、事故なくこの冬も過ごしていければと地域のみなさんの声をお聞きしています。

心配していたあいの里1条3丁目、2条4丁目の地震で飛び上がったマンホールの切り下げ（道路の陥没箇所修繕）工事もなんとか冬に間に合って実現。9月の地震後すぐに北区土木センターに申し入れを行い「雪が降る前に」との回答をもらい、11月の北区交渉で改めて工事を急ぐよう求めていたものですが、雪に間に合って、胸をなでおろしています。

11月7日には村山英彦北区長に対し、災害時の避難所設備や豪雪対策、茨戸などバス路線の確保、踏切新設要望など100項目以上を申し入れ、札幌市秋元市長にも「巨額公共事業の都心アクセス道路よりもくらし応援の市政を！」とパートナーシップ除雪の町内会負担軽減や除排雪予算確保などの申し入れを行いました。新琴似4条1丁目ケーズデンキ前の「押しボタン式信号機の設置」の回答など少しずつですが地域のみなさんの要望も実現できてうれしいです。



写真左、「雪が降る前に」の回答にどうやら間に合い、11月1日から開始された飛び出したマンホールの「切り下げ」工事。（あいの里1-3）

消費税増税中止、市民の声で！

北24条など商店街訪問してよびかけ

「ごめんください！日本共産党の後援会です」と元気に訪ねた商店街。12月1日、北24条、篠路など区内の商店街を訪問。消費。税増税中止の日本共産党の政策を届け大運動をよびかけました。行動には、地域の後援会のみなさんも参加していただいて70店以上を訪問。「来年10月の消費税増税中止へ、全力上げていま



す。日本共産党の政策と提案をお持ちしましたので、ぜひご覧ください」と訪ねるとどのお店でも「ほんとに困ります」「ポイントと言われてもうちは現金商売です」「がんばってください」と激励され、署名用紙も置かせていただきました。

毎月24日の消費税増税反対の宣伝日には新婦人のみなさんなどごいっしょに北区各界連が北24条の地下鉄駅前前で署名行動をしています(写真)。

「国もお金が必要」というなら弱いものいじめの消費税じゃなくて「応能負担」の原則で…。カルロス・ゴーンの所得隠しは50億円以上と言いますが、そもそも消費税導入(1989)前には高額所得者5000万円



以上は60%だった所得税率が消費税導入で38%に。富裕層の所得税を消費税導入前に戻せば1.9兆円、大もうけをしている大企業優遇の研究開発税などを見直せば4兆円の財源が生まれます。「憲法違反の空母や攻撃型戦闘機、ムダづかいもストップ」「来年は2回も選挙あります『増税する党には、絶対入れない!!』って声あげ、増税止めましょう！」と訴えています。

暮らしのこと・相談電話

(秘密厳守) 心配事もご遠慮なく

日本共産党生活相談室

(788) 8151

こむろの図書室から

「子どもの貧困」10年

一冊の岩波新書が目前にあります。阿部彩さん(国立社会保障・人口問題研究所)が書いた岩波新書「子どもの貧困」。初版はちょうど今から10年前。2008年の11月です。

「健康、学力、そして将来…。大人になっても続く、人生のスタートラインにおける『不利』・OECD諸国の中で第2位という日本の貧困(同書「はしがき」より)の問いかけて、この岩波新書は「子どもの貧困」問題を日本社会全体になげかけました。しかし、それからもう10年。

どうでしょう? 「貧困の世代間連鎖を断つために本当に必要な『子ども対策』とは何か(「はしがき」結び)として提示された「対策」は、どうなったでしょう?

いったんは無償化が決まった高校授業料への所得制限導入(2014年)、「2年生止まり」の少人数学級。「病院等を受診した方が良かったが受診させなかったことがあった(過去1年)家庭が18.4%、高校生のアルバイトの24.2%が「生活のため」…。札幌市と道が昨年実施した「子どもの生活実態調査」にも「子どもの貧困」は克服どころか深刻さを増していることが示されました。

10月末の北海道新聞一面には「いじめ認知最多41万件。道内も55%増1.3万件」の大見出しもありました。「いじめ」「不登校」「校内暴力」「子どもの自殺」がいずれも増加し、過去最悪水準と。「格差社会」化のもとですすむ「子ども期」の貧困化。もう時間を無駄にはできません。

